さざ波（Ripple）のようにおもいをつなぐ情報の架け橋

りっぷる Ripple

エスコープ大阪機関紙

第230号

22.3.28

Contents

表紙
・国内自給を高めていくことはいのちを守ること

P2
・消費材予約・登録の「名称」と「しくみ」が新しくなりました!

P3
・活動報告　せっけんで年末の大掃除がラクラク!!／子育てひろば／エスチャンネル企画「弁当」
・職員紹介　・近畿親生会紹介

P4
・「第15回ワーカーズ・コレクティブ全国会議 in 神奈川」報告
・理事会報告　・Rぴん回収率
・おたよりネット　・編集後記

第一次 生活クラブ 2030 行動宣言

生活クラブはSDGsの理念に通じ、かつ留まらない活動を実行していくことを約束します。

国内自給を高めていくことはいのちを守ること

2022年14週より、関西6生協（生協エスコープ大阪、生活クラブ都市生活、生活クラブ大阪、生活クラブ京都エル・コープ、生活クラブ奈良、生活クラブ滋賀）の利用促進策として「よやく・る」がスタートします（2面に詳細）。

「よやく・る」では新たに『国産牛おすすめスライス300g』の毎週と隔週の予約が始まります。私たちの『国産牛』は、酪農家で生まれたホルスタインの雄牛を肉牛として肥育した牛肉です。『国産牛』を利用することは酪農家を応援することにもつながっています。今回は「北海道チクレン農業協同組合連合会」理事長の伊藤重敏さんに、『国産牛』を取り巻く現状と課題などについてお話を伺いました。　（聞き手：消費担当事務局　岡 公美）

北海道チクレン農業協同組合連合会
理事長
伊藤 重敏さん

不安定な相場や情勢

岡　『国産牛』を取り巻く社会情勢や生産現場などの現状と課題を教えてください。

伊藤　配合飼料価格は、原料国際相場の上昇や船代（＝海上運賃）の高騰、円安などの値上げ要因が重なり、史上最高値となっており、国産牛生産に限らずすべての酪農・畜産に大きな影響が及んでいます。他の生産資材の価格も上昇しており、2022年から2023年の収支は厳しいものになります。これまで一時的なことがありましたが、現在はずっと高値を更新しています。新型コロナウイルス感染症の影響で生産や経済が止まっていた国々の回復も十分ではありません。中国はこれまで飼料などの輸出国でしたが、中国国内の豚肉生産を拡大しており、現在は穀物飼料の輸入国になっています。新型コロナウイルス感染症が収まったとしても、これまで他国から買えていた飼料が買えなくなるかもしれません。

また、『国産牛』となるホルスタイン雄子牛は酪農家で生産されますが、雌雄産み分け技術の普及などによりこの頭数が減っています。国内の酪農家戸数は全国で毎年600～700戸減少しており、北海道でも120～130戸減少しています。乳牛頭数は一戸当たりの経営規模拡大で近年やや増えている状況です。酪農家は、飼料や資材の価格上昇に加えて乳価の低下により、経営難で廃業しようか考える方も多く、離農を加速させています。『国産牛』の取り組みには酪農家が元気であることが大切です。単に、需要が減少しているからと規模を縮小してしまうと、足りなくなった時に生産を戻すことは難しく、生産を維持する体制を持っておくことも大事です。

岡　気候危機に関係する温室効果ガスの排出問題に関して、牛の飼養現場でのメタンガス排出（げっぷによる排出）が問題視されることもあります。牛の生理であり、一点の事実をもって声高に責めることについては違和感があります。生産者と一緒に考えていくことだと思いますが、生産者の立場としてはどのように考えておられますか。

伊藤　現在、可能な範囲で排出を減らすことはできないか、飼料原料の内容を変えることや抑制する飼料添加物の配合など、研究機関が調査しています。これは、一生産者だけでなく、国を含めた業界全体で考えていく必要があると思います。

食べ方が産地を変える

岡　日本の農業において重要な位置にある北海道ですが、北海道チクレンの今後の動きを教えてください。

伊藤　輸入飼料に頼らず「飼料からの国内自給」をすすめるために、2018年から飼料用米に取り組んでいます。現在の配合は2％ほどですが、割合を高めていきたいと考えています。また、国産の「子実トウモロコシ」も利用しており、これも現在2％配合しています。飼料用米もトウモロコシもそのまま飼料として使うことはできず、熱を加えたり潰したりして与える必要があるため、配合飼料メーカーと協力して進めていく必要があります。

岡　以前から国産粗飼料にも取り組まれており、国産飼料の調達が進むといいですね。私たち消費者が知っておくべき課題は何でしょうか。

伊藤　現在、食糧を海外から輸入できているからといって、今後も輸入できるという確証はありません。現に、輸入牛肉の価格は昔に比べて2倍の価格になっています。先ほどの中国の例と同様、各国の状況も変わります。日本が他国から買えない、買えても高くて国内で売れない可能性もあります。なぜ価格が安いのか、高いのか消費者一人ひとりが認識しておくことが重要です。国内自給力を高めていくことは自分たちの食＝いのちを守ることに直結します。一人ひとりの日頃の買い方が未来の食を変えることになることを自覚することが大切です。農家の後継者不足も生産者だけの問題ではなく、消費者の需要や購買が影響します。産地でも担い手づくりに取り組んでいますが、農家戸数の減少を食い止めるまでにはなっていないのが現状です。

岡　食の背景を知って食べ方（買い方）を考える必要があると改めて感じました。それぞれのハレの日の食卓に『国産牛』を選んだり、普段の食事に『国産牛』を使った加工消費材や、14週から始まる『国産牛』の「よやく・る」も活用して、おおぜいの組合員で利用をすすめたいと思います。

消費材予約・登録の「名称」と「しくみ」が新しくなりました！

よやく・る

生活クラブ関西6生協(エスコープ大阪、生活クラブ都市生活、生活クラブ大阪、生活クラブ京都エル・コープ、生活クラブ奈良、生活クラブ滋賀)では、週次単位(週1回)でお届けしている週刊「食べるカタログ」に掲載している消費材を都度利用する『自由注文』の他に『事前予約(登録)システム』があります。一度は利用したことがある方や、加入時に話を聞いたことがある組合員も多いのではないでしょうか。2022年14週(4月4日～8日配達)から新たな予約・登録のしくみ「よやく・る」が始まります。

予約(登録)のしくみを統一したブランディングに

『事前予約(登録)システム』は、大きく4つに区分されています。

①「定期予約」
日配性があり毎週のお届けを基本とするもの。牛乳、鶏卵、豆腐など。

②「登録」
毎週利用から4週に1回利用までの供給サイクルがあり、年間を通してお届けするもの。お米、じゃがいも、玉ねぎ、にんじん、バランゴンバナナなど。

③「シーズン登録」
季節性があり、頒布会形式(お届けする週と回数が事前に決まっている)でお届けするもの。アップルメイト(りんご)など。

④「シーズン予約」
季節性があり、そのシーズン内で配達時期、回数、数量を選択できるもの。みかん、各種晩柑類、柿など。

この4つの予約(登録)区分は、職員が日頃おこなう業務管理上では大変重要ですが、組合員から見た場合は、食べ方や供給方法、お届け時期などの違いはありますが、予約(登録)利用による消費行動が、生産者が持続的でかつ、安定的に生産することができ供給へとつながっていくことは同じです。このことから2020年に4つの予約(登録)区分を生活クラブ関西6生協の統一したブランディングにしていくことを、生活クラブ関西運営委員会(関西6生協の理事長、専務理事、常務理事、生活クラブ関西事務局で構成)で決定しました。そして2021年6月から10月に5回の協議をおこない、なぜ予約なのか、予約の意義・意図・到達点などについても振り返って話し合いました。また、これまでのおこなってきた予約(登録)取り組みと、これからおこなう新しい予約取り組みついて、様々な意見を出し合い、生活クラブ関西6生協の統一した「予約・登録のブランディング答申案」を生活クラブ関西6生協の各理事会で承認しました。

予約する私、サステイナブルな暮らし

生活クラブ関西6生協の新たな予約・登録システムの名称は「よやく・る」です。この「よやく・る」を私たちの利用結集活動の中心に位置付け、目指すテーマを決定しました。メインテーマとして「予約する私、サステイナブルな暮らし」を掲げ、サブタイトルは「継続して食べる約束が、安心の品質・公正な価格・持続的生産につながります」としました。

私たちの意志によって生み出された消費材について「どのように利用するか」、「どれぐらい利用するか」をしっかりと考え、利用する意志を示す「よやく・る」を推進し、持続可能な生産と消費のあり方をより強固なものにしていきたいと考えています。

これまでも、これからも予約(登録)して利用することが基本です

これまでの予約(登録)のしくみを整理し、予約できる消費材が増えました。基本的には「よやく・る」と『食べるカタログ』で取り扱う消費材は並行して取り組みますが、原料不足などから一部で欠品が発生する場合は、「よやく・る」を優先的に届けます。また、「よやく・る」は、これまで同様、予約(登録)して利用することを基本として、生産者リスク(ロスなど)がある『食べるカタログ』で取り扱う自由注文の価格と差を設けており、「よやく・る」の方がお得に利用できます。

さらに「定期予約」(毎週登録)では、「隔週お届け」や「月1回お届け」などを新たに設定した消費材もあります。また、申し込み・変更などについては注文書やインターネット注文からご自身でできる消費材と配達担当や生協に電話などで申し込み・変更をおこなう消費材をマークで区分し、わかりやすく案内します。組合員がより使いやすいしくみにしました。ぜひ「よやく・る」で利用してください。

おおぜいの組合員が「よやく・る」を利用することでより国内自給率の向上や、安心安全の考えや遺伝子組み換え反対運動などに一緒に取り組む消費材の各産地では環境や生態系を守ることにつながります。次世代の子どもたちが安心して暮らせる社会を残していけるように共に取り組んでいきましょう。

常務理事　桐田 剛至

よやく・る で新しく予約消費材となりました!

新 よやく・る 消費材	形態	予約価格(税込)
焼きそば用蒸しめん	毎週 隔週	146円(通常価格より3円引き)
国産牛おすすめスライス	毎週 隔週	1,300円(通常価格より65円引き)
和牛おすすめスライス	毎週 隔週	1,663円(通常価格より87円引き)
鶏モモ肉300g	毎週 隔週	629円(通常価格より10円引き)
鶏ムネ肉300g	毎週 隔週	497円(通常価格より11円引き)
エコシュリンプL	隔週 月1回	1,512円(通常価格より43円引き)
エコシュリンプむき身	隔週 月1回	1,005円(通常価格より33円引き)

泉北ニュータウン地域

せっけんで年末の大掃除がラクラク!!

2021年12月9日(木)
エスコープ大阪本部
・オンライン同時開催
(堺市南区)

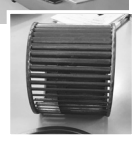
『L'S洗濯用無添加せっけん(針状)』は安全で油汚れにも強かった

泉北ニュータウン地域理事
前田 美佐代

合成洗剤は1952年頃から普及し、ホームセンターなどの店頭で用途別に並ぶ光景を目にします。年末の大掃除を通してせっけんの使い方や優位性、合成洗剤の怖さを組合員に知ってもらおうと企画し、2名の参加がありました。準備を進める中で、洗剤の使用頻度が高い洗濯についても少し取り上げることにしました。

前半は、せっけんと合成洗剤の成分比較と家庭用合成洗剤に入っている化学物質の種類・環境への排出量、柔軟剤による健康被害「香害」問題を取り上げて、人体と環境へ及ぼす影響を資料とスライドで学習しました。

後半は、地域委員が持参したカッターシャツ、Tシャツ、靴下、ガスコンロの五徳やまな板、レンジフードのドラムファン部分(ドラム式)を使って、せっけんの使い方を実演。『L'S洗濯用無添加せっけん(針状)』を専用スプーン1杯を500㎖のぬるま湯に溶かして泡ポンプ式容器に入れ、襟汚れ、化粧汚れ、靴下の泥汚れ部分にせっけん泡を付けて約15分置き、流水で洗った結果、ドライクリーニングでは残っていた襟汚れが落ち、化粧汚れは少し残る程度まで、靴下は裏返して洗ったので汗や皮脂汚れもきれいになりました。汚れがひどかったドラムファンは不要布で汚れを落とし、せっけんを付けて置いた後、お湯で流すと手で触ってもベトベト感はありませんでした。事前に汚れを布で拭き取ることで、水を汚さずシンクの掃除も楽になることを伝えました。



会場に参加された方は組合員歴が長く、洗濯はせっけんを使っていますが、油汚れがひどい台所の掃除は専門業者に依頼されています。せっけんでどこまで落とせるのか知りたかったようで、今後は「針状せっけんを使って自身でもやってみます」とおっしゃっていました。別の参加者からは、「合成洗剤の試供品や贈り物の処分に困っている」との話もあり、みんなでせっけん運動を広げていく必要性を共有しました。今後もせっけんの利用と有害化学物質の問題をわかりやすく伝える取り組みをしていきたいと思います。

店舗地域準備会

エスチャンネル企画「お弁当」

2021年12月16日(木)
城山台地域会館
(堺市南区)

店舗地域準備会担当
理事　糸川 江里子

お弁当から「食」と「食べかた」を考える!

店舗地域準備会では2021年度のエスチャンネル企画を登録者2名でスタートしました。コロナ禍のためオンライン開催が続いていましたが、この日は登録者1名と店舗地域準備会2名の計3名で直接お会いして実施することができました。

テーマの「お弁当」は、日頃からお弁当作りに励んでいる登録者からの提案で、お弁当作りの工夫や市販のお弁当との違いを話し合いました。野菜がたくさん使われている手作り弁当の写真を見ながら、野菜を入れる工夫として調理方法を変えたり常備菜を作っておくと便利なことを伝え合い、それぞれの工夫を披露しました。

また、準備会が用意した市販の弁当の裏側の表示を見て、添加物の多さに改めて気付き、エスコープ大阪は必要最小限の93品目の添加物使用を認めているが、日本で認められている添加物は822品目あることを伝えました。加えて準備会から野菜や果物の栽培に使われる農薬の回数ついて『旬菜セット』の生産者の「菜食ファーム」の栽培基準を伝えました。

参加者から、野菜や果物の旬が変わってきた背景には気候危機や、消費者の偏った嗜好があることを危惧する声もありました。『旬菜セット』は、組合員と「菜食ファーム」の生産者が1970年代から「新鮮な旬の野菜」「農薬を減らした野菜」「利用し続けられる価格の野菜」に取り組み、具体的にどのようにすすめていくのかを話し合う春夏・秋冬野菜の作付け会議や反省会、産地交流など「顔の見える話し合いの場」を持ちながら作り続け・食べ続けてきた消費材であることを話しました。

「エスチャンネル」企画は参加者が提案したテーマをみんなで一緒に調べたり、調査活動や実験など様々な活動ができる企画です。おおぜいの組合員で「エスチャンネル」に参加していろいろな関心事を探究していきましょう。

堺市街地地域

子育てひろば

2021年
12月10日(金)
オンライン開催

堺市街地地域理事
川 弘美

人と人がつながるエスコープ大阪の子育てひろば

エスコープ大阪の「子育てひろば」は、子育て中の親子が月一回気軽につどい、交流できる場です。お母さんどうしが育児について話し、ゆったりした時間を過ごすことができます。しかし、新型コロナウイルス感染が広がり、長い間開催できないままでいました。コロナ禍でどこにも行けない閉塞感や、子どもとだけ過ごすストレスを、同じ子育て中のお母さんと話すことで、地域でのつながり作りになればと思い、オンラインで開催し2家族が参加しました。

今回参加した2歳のお子さんは、事前に届けた緑の画用紙のツリーに紙のオーナメントや星を飾って厚紙の台紙に貼り、壁に吊るすクリスマスツリーを完成させました。次に子育てサポーターが簡単な手遊びを教えて、子どもたちと一緒にしました。その後、子どもたちがツリーで遊んでいる間に、お母さんどうしで子育ての情報交換や、悩み相談をしたりアドバイスをしたりして、短い時間ながら楽しく交流しました。

子どもたちにとっても母親以外の人と関わることで新しい視点が加わり、世界が広がるのではないでしょうか。

エスコープ大阪の「子育てひろば」は、子育てサポーター研修を受けた組合員の子育てサポーターが中心になって開催します。今回は折り紙でサンタを作って届けました。子育てを離れた世代は、子育てサポーターとして関わることでかわいい顔見知りができます。コロナ禍で外出が制限され孤立するお母さんは、子育てを少し手伝ってもらうと助かります。私たちは、人と人のつながりをつくる「子育てひろば」を続けていこうと思います。

こんにちは! 近畿親生会です

<第5回>　竜王町稲作経営者研究会　会長　田中 秀樹さん

私たち「竜王町稲作経営者研究会」(以下、稲研)は2015年に、「生活クラブ近畿親生会」に加入しました。加入後は、親生会の仲間と共に組合員の皆さんとの交流会や研修会の参加などの活動をしております。

私たちは有機肥料のみを施し、農薬の使用成分を3成分以内に抑えた『竜おうみ米』と、「㈱豆伍心」の豆腐の原料となる大豆「フクユタカ」を生産しています。私たちの生産拠点である滋賀県竜王町を中心とした東近江地域で、2013年から生活クラブ関西6生協と「主産地づくり」をすすめています。稲研としては現在、お米と大豆の供給のみですが、麦や野菜を栽培している会員も多くいます。そういったものを今後供給できるように試行錯誤し、「主産地」としての価値を高めていけるよう日々努力していきたいです。

コロナ禍で、この2年間、組合員の皆さんとの交流ができず非常に寂しいですが、また以前のように交流会ができるよう願うばかりです。

入職1年目が思うこと

職員さんが自己紹介!!

松浪 晴輝(24歳)
エスコープ大阪在籍年数1年1ヵ月
[共同購入フロア・堺支所]

私は24歳で、実家暮らしをしています。趣味はドライブで、休日は行くあてもなく郊外まで車を走らせてそのまま家に帰っています(コロナ禍ですからね)。家で「YouTube」を見たり、服を買いに行ったりもします。

入協する前は中華料理店に4年間勤務していました。主に調理担当で、鍋を振ったり、揚げ物や餃子を包んだりしていました。食品関係の配送業務に興味を持ち、エスコープ大阪に入協し、配達業務をおこなっています。

最初は配送ルートを覚えるのに苦労したり、配達で消費材を降ろし間違えたり…失敗ばかりでしたが、先輩から「誰でも最初は失敗するよ。しっかり直していこう!」と言われ救われたことを覚えています。勝手に自分一人で抱え込んでいただけで、何かあったときには先輩に相談することで前向きに業務することができてきました。

入協して1年が経ちましたが、組合員さんとのコミュニケーションや配達業務にすごくやりがいを感じています。まだまだミスをしてしまったり、組合員の皆さんへご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、これからもよろしくお願いします。

第9回 理事会報告 <2月2日>

【12月度決算報告】
●供給高　2億4,795万円(前年同月比98.4%)
　　＊配達日数は1日多い。
●組合員数　19,013名(前月比+21名)
●一人当たりの出資金　87,693円

【1月の放射能検査結果】
1月は連合消費材650検体、関西消費材6検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

[決議事項]
①総代会開催について
②総代選挙の実施について
③常務理事と地域理事の補充選任及び役員推薦委員の決定について
④エスコープ大阪サポートセンター常勤･非常勤職員の就業規則と賃金規程の改定について
⑤「日本生協連生協役員賠償責任保険」の加入申込

[協議事項]
①今後の組織体制について
②2022年度方針「ともに活動する仲間づくり」についての提案
③2022年度予算案
④2022年度確認する会の取り組み方
⑤「生活クラブえほん」のまとめと検証
⑥政策討論集会への参加
⑦りっぷる4月号からの価格変更とPAKへの委託内容の変更
⑧研修の進め方について

[報告承認事項]
①連合会･共済連2021報告2022方針への単協質問意見の提出
②2022年度生活クラブでんき契約目標

エスコープ大阪 Rびん回収率 <1月実績>

2021年度はRびん85%以上の回収を達成しよう!
食べるカタログ･びん本体のⓇマークが目印です。

	供給	回収	回収率
1月	8,153 本	9,788 本	120%
4～1月	116,646 本	86,636 本	74%

1月の回収率を続けると今年度の目標に限りなく近づきます。使い終わったら必ず返却! 最終報告は「環境委員会ニュース」をご覧ください。

編集後記
次号より紙面がA4サイズとなります。コーナー記事は基本同じですが、生産者紹介では関連消費材の紹介もします。4面では協同組合について連載していきます。サイズ変更は一年間の予定ですが、またご感想などお聞かせください。(O)

発行:生活協同組合エスコープ大阪　制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪
〒590-0151　堺市南区小代727
TEL.072-293-4660　FAX.072-341-0022
https://s-osaka.seikatsuclub.coop/

ワーカーズ･コレクティブ ネットワーク ジャパン(WNJ)

第15回ワーカーズ･コレクティブ全国会議 in 神奈川

～孤立や分断を協同の力でつなぎ持続可能な地域社会をつくろう～

2月19日(土)･2月20日(日)　オンライン開催

協同の力で持続可能な地域社会づくり

WNJでは2年に一度、社会の課題を共有して解決する方法を模索するために全国会議を開催しています。このコロナ禍で、私たちの生活は孤立･分断がすすみ、生活の困窮は多様化･日常化が進んでいます。そんな中、全国のワーカーズ･コレクティブ(以下、W.Co)のメンバーや生活クラブの組合員など1,000名以上が2日間にわたりオンラインでつながり、協同の力で持続可能な地域社会を実現するためにW.Coや市民団体、協同組合ができることについて考えました。

本当の豊かさとは

全体会では、大阪市立大学大学院経済学研究科･経済学部准教授の斎藤幸平さんが「協同と連帯による持続可能な地域社会づくり～生産手段と地球を『コモン』として～」というテーマで、基調講演をされました。斎藤さんは、コモン(教育、医療、家、水道、電気などの共有財産)を増やし、経済成長ではなく、貨幣の動きや市場経済に依存しない社会「脱成長コミュニズム」をすすめることが「本当の豊かさ」につながるのではないかと話されていました。本来、経済成長は人間が豊かになるためのものであったはずなのに、物質的な豊かさを求めることで人々は過酷な労働を強いられ、二酸化炭素を大量に排出して地球環境を悪化させています。趣味や家族、友人との時間や周りの自然など、本当の豊かさを手放すことになっているのではないでしょうか。もう一度、「本当の豊かさ」について考え、暮らし方を見直す時なのではないかと思いました。

今こそワーカーズ･コレクティブ

全体会の他に、6つの分科会と3つの自主企画があり、神奈川県を中心としたW･Coや市民団体による様々な事例報告がありました。私が参加した自主企画では、神奈川県のNPO法人ワーカーズ･コレクティブ協会」が、生きにくさを抱えている人への就労支援について報告がありました。生協と連帯して組合員も参加できるしくみを作り、地域の団体と連帯しながら、W･Coならではの柔軟でお互いを認め合う働き方を実践されていました。

2022年は、日本にワーカーズ･コレクティブが誕生して40年、そして労働者協同組合法が施行される年です。「本当の豊かさ」について考えた時、利益の追求だけを目的とせず、性別や年齢、ライフスタイルなどの違いを認め合い、社会的･経済的な自立、精神的な自立をめざしているW･Coの働き方は合点がいきます。改めて、W･Coの働き方を社会に拡げていきたいと思いました。

(常務理事　吉田 正美)

おたよりネット

「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用ＢＯＸまで。

228号 1面「持続可能な農業の実現に向けた第一歩」を読んで

紙面モニター Mさん

コロナ禍のどさくさに紛れて可決された法案との認識しかありませんでしたが、少し理解できた気がします。近隣の農業の現状を見るにつけ、農家の存続そのものは果たして持続可能かは疑問に思います。

228号 4面「Rびん回収率」を読んで

泉北ニュータウン地域　小林さん

SDGsは一人ひとりが変わる生き方をすることです。Rびん回収は供給時と回収時にずれがありますが、70%というのは少ないと思います。Rびんを使ったものを買い、回収の時に出すようにしたいです。

キリトリ

Ripple おたよりネット

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。
この欄への投稿･ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事会事務局行き
230号(2022.3.28)

(ペンネームOK)
●地域名　　●お名前

●組合員コード　　●班名

キリトリ